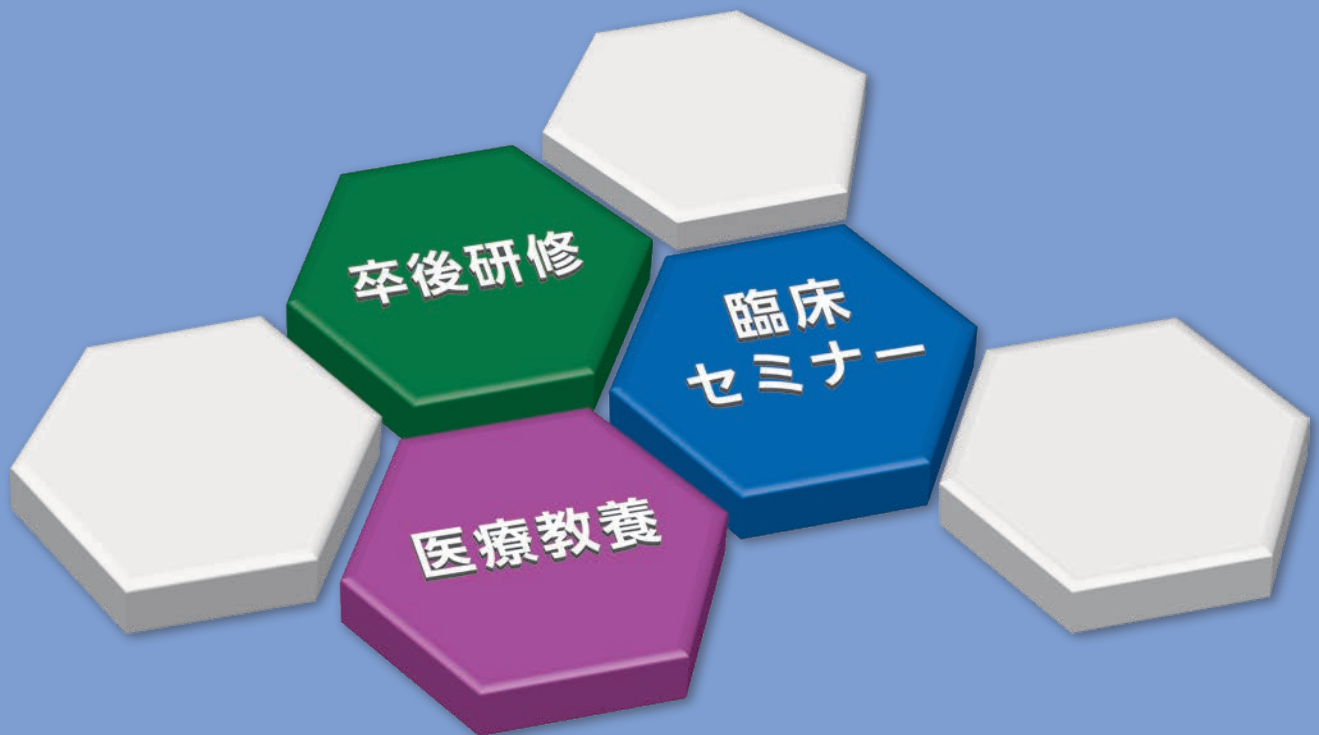


TOKYO DENTAL COLLEGE ALUMNI ASSOCIATION

TDC *Academia* 2024



臨床セミナー

医療教養

- | | |
|-----------|---|
| 5月26日(日) | 小児外傷セミナー
「これで安心！症例から学ぶ小児外傷の対応」
～外傷歯の保存・抜髄・抜歯 幼若永久歯・後続永久歯などへの対応～ |
| 7月 7日(日) | 薬セミナー
「知れば広がる処方の方針」
～有病者・高齢者・妊婦・小児患者への実践的な処方～ |
| 9月 7日(土) | ベーシックハンズオンセミナー |
| 9月 8日(日) | 「すぐに役立つ臨床のコツ」
～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科編～ |
| 10月27日(日) | 顎関節症セミナー
「顎関節症の治療法をアップデート」
～顎関節症の診断から基本的治療・難症例について～ |
| 11月17日(日) | 医療教養フォーラム
「歯科から取り込む！孤独という病を地域で治す方法」
～人のつながりが薬になる～ |

主催 東京歯科大学同窓会 協力 東京歯科大学
日本歯科医師会生涯研修認定

ご挨拶



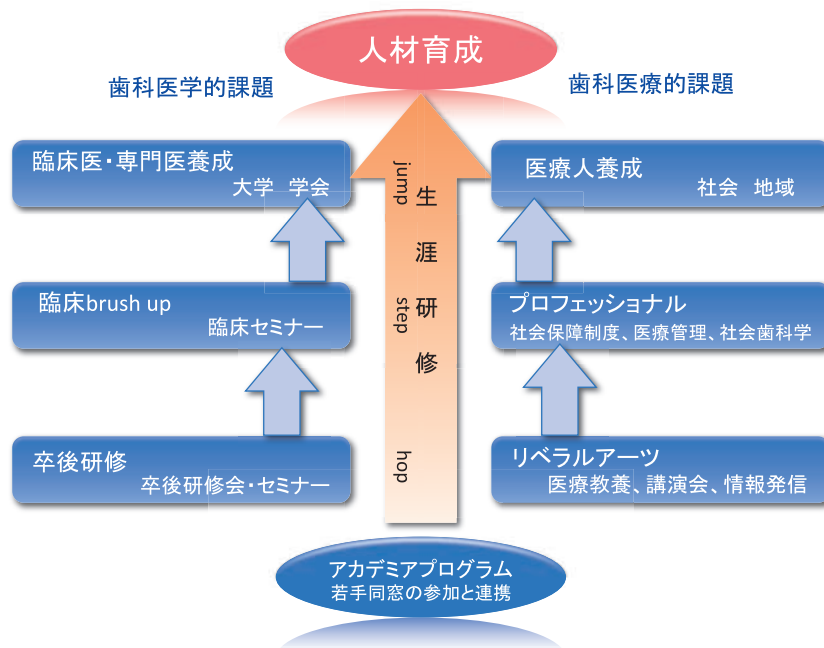
同窓会会長 澁谷 國男

「TDCアカデミア」は、2016年に同窓会120周年を記念し発足され、今年度で9年目を迎えました。「卒後研修」「臨床セミナー」「医療教養」の3本柱のもと、卒後直後の方、ある程度臨床経験を積まれた方、より高度な臨床を目指している方など、それぞれのニーズに適応した生涯研修の場として、先生方にご活用いただいております。

昨今の社会情勢も落ち着きを取り戻し、本来のセミナーを開催することが出来るようになりました。また逆境の中、我々が得たWeb配信という開催方法は、数々の利点も与えてくれました。「卒後研修」の勉強会では様々な地域からの参加があり、夜8時からという時間からの開催も可能にしています。「臨床セミナー」におきましても、地方からのWeb参加を数多くいただいております。オンラインによるセミナー開催は新たな時代の潮流であり、今後も必要なツールとして活用していく所存です。

しかしながら、「水道橋の校舎に集い、共に学び合う」という、同窓会の本来の在り方は大切にしていきたいと考えます。年に数回、母校の門をくぐり日進月歩の歯科医学や臨床技術を感じることは、必ずや皆様の日々の診療に反映されることでしょうか。多くの先生方にご参加いただけることを切に希望しております。

臨床のみならず人間性豊かで社会性のある歯科医師になれるよう、生涯研修の場をつくり、各分野からの技術、情報、知識、教養を提供いたします。



幅広い分野で活躍できるような人材育成を明確な目標とし、母校での質の高い大学教育を引き継ぎ、卒後の生涯研修のためにアカデミアとして応援していこうという構想です。研修は、歯科医学的課題と歯科医療的課題とを包括的かつ総合的な視点で捉えております。卒後研修では、研修医・卒後の若い先生方が診査・診断、情報収集、治療計画立案、プレゼンテーションといった生涯研修を進める上での基本部分が身につけられます。臨床レベルの向上ならびに専門性の高い技術習得には臨床セミナーを活用していただき、日々の臨床にお役立て下さい。またリベラルアーツでは、医療教養としての知識を講演会を通じて学べ、さらには社会制度の研究や情報提供を通じ、患者さんや社会から望まれる歯科医師像をめざすことを目標としています。

アカデミアプログラムには、hop→step→jumpとして目標設定と継続性を示しておりますが、順番や年齢制限はありません。生涯研修の場としてこのアカデミアを捉えていただき、確固たる臨床医として、医療人となるべく同窓会は支援いたします。

卒後研修 「症例を診て、考えて、楽しむ勉強会！」



セミナーや学会には行くけど勉強会は参加したことがない方、一度参加してみませんか！

提示された症例について色々と話を聞いてみたい、困っている自分の症例を相談してみたいと思っている方にとっても参考になる勉強会です。

様々な症例を通じて意見交換し、臨床の現場における引き出しをみんなで増やしていきましょう！

症例を通じて Hop、Step、Jump！

1. Hop : 症例(患者)を診るって 何を診ればいいの？
2. Step : 患者の情報って 何を聞いて 何を考えるの？
3. Jump : 治療方法の引き出しを増やすには何をすればいいの？

同窓会学術委員会では以下の3つの勉強会があり、いつ、どこに参加してもOKです。

また、人前で話すのが苦手な方は、慣れるまでは無理に発言等していただくことはありませんので気軽に参加して下さい。



参加無料 参加ご希望の方は sotsuken@tdc-alumni.jp まで

TDC 卒後研修倶楽部

奇数月第4木曜日 20:00～

症例相談や経過報告などの発表を中心に皆でディスカッションしていく勉強会です。なぜこの患者さんは計画通りに進んだのに、あの患者さんは計画通りに進まないのだろうって思ったことはないですか？その原因を様々な症例から疑似体験し、臨床の現場での直感力や、具体的な診療方法をやしなえる勉強会になっています。

卒研症例検討会

偶数月第4木曜日 20:00～

若手歯科医師向けの研修会です。経験豊富な先生方から1歯単位から口腔内全体を診断するために必要なことを講演として聞けます。参加者の症例を通じて意見交換をすることで、経験者がどのようなことを考えているかを学べる勉強会になっています。

デンタルスタッフミーティング

第3水曜日 20:00～

診療に必要な資料(レントゲンや口腔内写真など)や情報の収集や選別の仕方など基礎的なことを中心にすすめている勉強会です。症例を通して、「何が足りなかったか」「他にどんな情報があると有利か」などを意見交換しながらスキルアップを図っております。今まで勉強会に参加したことのない方でも参加しやすい内容となっております。

実際どんなことをしているの？

TDC 卒業研修倶楽部・デンタルスタッフミーティング・卒業症例検討会

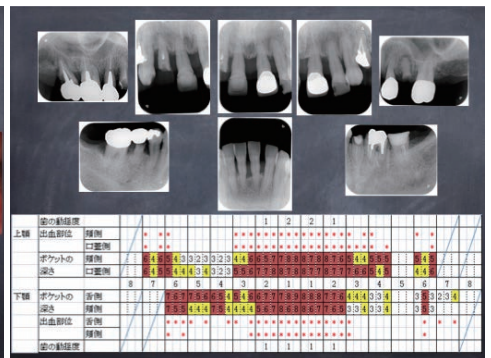
その悩み、みんなで共有し、ディスカッションし、解決していきませんか！

歯科治療には治療の方程式はありません…だからみんな悩むのです。内容こそ違いますが、経験年数に関わらず感じることはないでしょうか。だからこそ生涯研修が重要です。中でもプレゼンテーションとディスカッションは、そんな悩みを解決するとても大切なツールと考えます。あなたの悩みをみんなで共有し、ディスカッションし、解決していきませんか。

— 実際どのようなことしているのか…ここでは実際に行われた症例を紹介します —

症例1 ～どのようにゴールまで導きますか～

- ・必要な情報は
- ・根拠のある診断とは
- ・治療方針はどのように立案しますか
- ・実際の治療方法は
- ・どのような経過を予測できますか
- ・そして経過は などなど…



症例2

～デンタルX線写真1枚からどのような情報を得られますか～

- ・デンタルX線写真には様々な情報が詰まっています。
- ・撮影、読像が高いレベルでできるようになると、日々の臨床での診断能力は飛躍的に向上します。



（キリトリ線）

対面・Web どちらでも参加できます

TDCアカデミア卒業研修ではハイブリッドでの勉強会を開催しています。

普通の勉強会と同じようにスライドおよび音声で発表を行い、質問もできます。

遠方の先生も多数参加していますので、お気軽にご参加ください。

参加をご希望の方は sotsuken@tdc-alumni.jp もしくは同窓会事務局までご連絡ください。

Web配信を受け取れる環境でのパソコンもしくはスマートフォン、タブレット等からメールを送って頂き、開催日当日にWeb勉強会に参加できるID・パスワード情報を送らせて頂きます。



事前配信いたします

一度3勉強会のどれかに参加すればメーリングリストに登録し、事前に次回の内容を知ることができます。皆様のご参加、同窓会学術委員一同お待ちしております。

小児外傷セミナー

東京歯科大学同窓会

臨床セミナー
聴講型

小児外傷セミナー

「これで安心！症例から学ぶ小児外傷の対応」

～外傷歯の保存・抜髄・抜歯 幼若永久歯・後続永久歯などへの対応～

小児は運動機能が未成熟で、乳歯列期、混合歯列期初期では歯の外傷を受けやすいといわれています。乳歯の外傷では、外傷への対応だけでなく後続永久歯への影響と咬合への影響を考えた対応が必要です。また幼若永久歯では歯根形成、根尖閉鎖などその後の成長も考えなければなりません。

外傷歯は歯髄、歯周組織が複合的に損傷しているため、的確かつ迅速な診査と診断が求められ、長期的な経過観察も必要となります。本セミナーでは乳歯・幼若永久歯の外傷における知っておくべき知識や手技、患者への説明について多くの症例を通じて詳しく学べます。

講師：辻野 啓一郎
(東京歯科大学小児歯科学講座)

荒井 亮
(東京歯科大学千葉歯科医療センター小児歯科)



日時：5月26日(日)10:00～13:30

場所：ハイブリッド開催
対面参加 東京歯科大学水道橋校舎 新館11階
Web参加 zoom ウェビナー

定員：60名

受講料：1万2千円

講演内容：1) 乳歯・幼若永久歯の外傷に対する初期対応
2) 受診時の対応と注意点、保護者への説明
3) 症例から学ぶ外傷歯の対応



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

小児外傷セミナー 参加方法 <input type="checkbox"/> 対面参加・ <input type="checkbox"/> Web参加 チェックをお入れください	
ふりがな	出身校 (大学)
ご氏名	(年卒)
ご連絡先 自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住所 〒	
TEL	FAX
必須 E-mail	
ご勤務先名	

状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに記載いたしますので、そちらでご確認ください。



辻野 啓一郎
(つじの けいいちろう)

1992年 東京歯科大学卒業
1996年 東京歯科大学大学院歯学研究科(小児歯科学専攻) 修了
博士(歯学)
1996年 東京歯科大学小児歯科学講座 助手
2003年 東京歯科大学小児歯科学講座 講師

所属団体・認定資格
日本小児歯科学会 専門医・指導医
日本障害者歯科学会 認定医・指導医
日本小児口腔外科学会 指導医
日本障害者歯科学会 専門医・指導医
IDC 制度協議会
インフェクションコントロールドクター

主な著書(分担執筆)

「第3版 小児歯科学 ベーシックテキスト」 2023年(著分担)
「第3版 小児歯科学 クリニカルテキスト」 2023年(著分担)
「乳歯の歯内療法 健全な後継永久歯との交換につなげるには？」 2021年(著分担)
「スピード解決！歯内療法Q&A」 2023年(著分担)
「診察室でもぐもぐの発達を支える本」 2022年(著分担)
「子どもの口腔機能発達不全症 UPDATE」 2023年(著分担)

小児期の外傷は、受傷時の治療だけでなく、その後の成長を考慮した対応が求められます。受傷状態は破折でも脱臼でも千差万別で、緊急性があるなかで適切な治療法を選択する必要に迫られることになります。外傷歯への対応のガイドラインは2012年に出ていますので、基本的な対応はガイドラインを基に考えていくことになります。しかし、同じような受傷状態であっても、治療法は乳歯か、永久歯かによっても異なりますし、さらに根末完成歯か、根完成歯かでも変わってきます。本セミナーでは状況に応じた治療法が選択できるように、実際の臨床症例を中心にお話したいと思います。

そして小児期の外傷では、処置後のフォローアップが非常に重要です。適切なフォローがなされなかったために重篤な状況を招いた症例なども提示し、処置後に必要なフォローについても理解を深めていただきたいと思います。
(Keiichiro Tsujino)



荒井 亮
(あらい りょう)

2009年 東京歯科大学卒業
2010年 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座小児歯科分野臨床専門専修科生
2014年 東京歯科大学小児歯科学講座臨床専門専修科生(配置替)
2015年 東京歯科大学小児歯科学講座助教
2021年 東京歯科大学千葉歯科医療センター小児歯科 診療教員(助教)

所属団体・認定資格
日本小児歯科学会専門医

主な著書(分担執筆)

「子どものう蝕治療とリスクマネジメント」, デンタルダイヤモンド社 2016年(著分担)
「小児歯科のレベルアップ&ヒント」, デンタルダイヤモンド社 2019年(著分担)
「乳歯の歯内療法 健全な後継永久歯との交換につなげるには？」ヒューロン 2021年(著分担)

小児外傷は歯牙、軟組織、歯槽骨と幅が広く、一歯のみならず複合的に受傷することが多いです。また突発的に患者はまずかかりつけ医に来院されます。今まで偶然にも外傷経験が少ない先生が急に来院した患者に対応できるように初期対応を確認することが必要だと思えます。

小児の外傷で重要なのは適切な初期対応と術後管理です。特に外傷歯の術後管理では、歯髄壊死、根尖性歯周炎、外部吸収などが生じる可能性があります。これらを「成長という時間軸」の中で早期発見を行い、適切に対応することで外傷歯の保存が可能になります。外傷の受傷パターンは様々で、年齢によっても初期対応や術後管理のポイントが異なります。術後管理を理解することで初期対応後の説明内容に生かされ、術後変化時に保護者より「そんな話は聞いていない。」「この歯がダメになったらどうなるのですか。」などの質問に対し、中期的な外傷歯の術後管理を本セミナーで症例を通し共有できたらと思います。
(Ryo Arai)



「知れば広がる処方仕方」

～有病者・高齢者・妊婦・小児患者への実践的な処方～

症状に合わせた処方をおこなえていますか。

急性炎症や外科処置後の感染予防に対する抗菌薬や鎮痛薬、粘膜疾患に対する軟膏や含嗽剤などを処方する機会が多いと思いますが、患者の症状や全身状態の把握、他の薬剤との相互作用も考慮できているでしょうか。

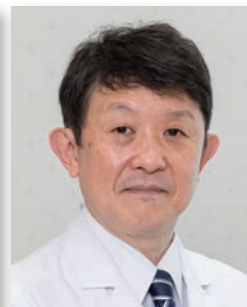
本セミナーでは薬の基礎知識から基礎疾患など投薬に配慮が必要な患者への処方について、薬剤の特徴、選択基準、使い方そして注意点などを学んでいただきます。

講師：笠原 正貴

(東京歯科大学薬理学講座)

野村 武史

(東京歯科大学口腔腫瘍外科学講座)



日時：7月7日(日) 10:00 ~ 13:30

場所：ハイブリッド開催

対面参加 東京歯科大学水道橋校舎 新館11階

Web参加 zoom ウェビナー

定員：60名

受講料：1万2千円

講演内容：1) 薬の基礎知識

2) 高齢者・妊婦・小児患者への処方

3) 基礎疾患のある患者への処方

4) 粘膜疾患への処方

5) トピックス (ARONJ・BRONJ・ポリファーマシー)



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

薬セミナー 参加方法 <input type="checkbox"/> 対面参加・ <input type="checkbox"/> Web参加		チェックをお入れください
ふりがな	出身校 (大学)
ご氏名	(年卒)
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住所 〒		
TEL	FAX	
必須 E-mail		
ご勤務先名		

状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに記載いたしますので、そちらでご確認ください。



笠原 正貴
(かさばら まさたか)

1995年 東京歯科大学卒業
1999年 東京歯科大学大学院歯学研究科(歯科麻酔学専攻)修了
1999年 東京歯科大学歯科麻酔学講座助手
2004年 上海中医药大学留学
2008年 東京歯科大学歯科麻酔学講座講師
2011年 慶應義塾大学医学部医化学教室特任講師
2013年 東京歯科大学歯科麻酔学講座講師
2014年 東京歯科大学薬理学講座主任教授

所属団体・認定資格・役職
日本薬理学会 学術評議員
歯科基礎医学会 代議員
公私立大学実験動物施設協議会 代議員
日本歯科麻酔学会 認定医

主な著書(分担執筆)

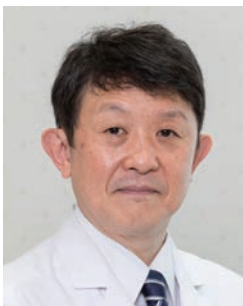
歯科衛生士テキスト 最新薬理学—疾病の成り立ち及び回復過程の促進— 学建書院, 東京, 2017年
現代歯科薬理学第6版 医歯薬出版, 東京, 2018年
歯科麻酔学第8版 医歯薬出版, 東京, 2019年
歯科のくすりがわかる本2020 医歯薬出版, 東京, 2020年
ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学第3版 永末書店, 京都, 2023年

すべての医薬品は基本的に副作用のないものではなく、リスクとベネフィットの微妙なバランスの上で使用されています。したがって、その使用方法を誤ると大きな副作用を誘発してしまう可能性が十分にあります。

我々が使用する薬物の用法・用量を知るのはもちろんのこと、その副作用や他薬との相互作用を理解しておく必要があります。基礎疾患を有している患者さんや高齢の患者さんが増えている昨今、様々な薬物を服用しているために、薬物相互作用や副作用、適用上の注意点を今一度、確認しておく必要があります。本講演のねらいは、基礎と臨床をつなげた視点から薬についての基礎知識を再整理することです。

また本講演では、ポリファーマシーなど、知っておきたいトピックスとして、解説を試みたいと考えています。

(Masataka Kasahara)



野村 武史
(のむら たけし)

1995年 東京歯科大学卒業
2000年 東京歯科大学口腔外科学第一講座 助手
2006年 東京歯科大学口腔外科学講座 講師
2009年 カナダ・プリティッシュコロンビア大学留学
2013年 東京歯科大学口腔外科学講座 准教授
2014年 東京歯科大学口腔がんセンター 准教授
2015年 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学講座 主任教授
2020年 東京歯科大学口腔腫瘍外科学講座 主任教授
東京歯科大学口腔がんセンター センター長

所属団体・認定資格・役職
日本口腔診断学会 理事長
日本口腔内科学会 理事
国際歯科研究学会 理事
ジャパンオーラルヘルス学会 理事
日本口腔外科学会 代議員
日本口腔科学会 評議員
日本頭頸部癌学会 代議員
日本口腔腫瘍学会 評議員

主な著書(分担執筆)

薬剤関連顎骨壊死の病態と管理：顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー 2023
日本口腔外科学会ホームページ https://www.jsoms.or.jp/medical/pdf/work/guideline_202307.pdf 2023年
口腔内科学第3版 永末書店 2023年
歯科クリニックで見逃してはいけない口腔粘膜疾患 HYORON 2022年
有病者歯科学 永末書店 2021年
蛍光観察法と口腔粘膜疾患～開業医に知ってほしい基本と実践 MEDIA 2021年
口腔粘膜・皮膚症状から「見抜く」全身疾患—オラドローム・デルマドローム— 南江堂 2020年
口腔がんについて患者さんに説明するとき使える本 医歯薬出版部式会社 2020年
口腔癌診療ガイドライン2019年版 金原出版株式会社 2019年
薬剤・ビスフォスフォネート関連顎骨壊死 MRONJ・BRONJ クインテッセンス株式会社 2016年
オーラルメディスンに基づいた次世代の歯科診療 クインテッセンス株式会社 2016年

医学の進歩により日本人の寿命が延伸しました。その結果、全身疾患の治療を受けている多くの高齢者が歯科医院に来院するようになりました。このような患者さんに対して、我々歯科医師は日常的に投薬による治療を行っています。歯科で処方される代表的な薬は抗菌薬と消炎鎮痛薬ですが、そのほかにも含嗽薬、ステロイド外用薬、抗真菌薬など様々です。皆様は、薬を処方する際にどのようなことを考えながら選択されていますか。医師から処方されている薬との相互作用、口内炎の症状からの薬の使い分け、対症療法あるいは予防的な使用法などいろいろと悩みどころが満載ではないでしょうか。本セミナーでは、普段よく処方する薬の投与原則や、あまりなじみのない口内炎やカンジダ症などに対してどのように薬を選択したらよいのか、皆さんと様々な事例を通して共有したいと思います。このセミナーで皆様の投薬の幅が広がることを期待しています。

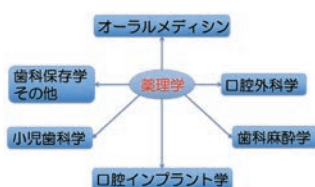
(Takeshi Nomura)



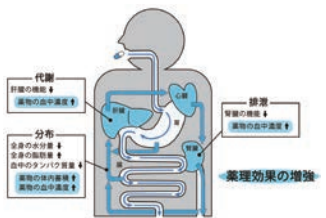
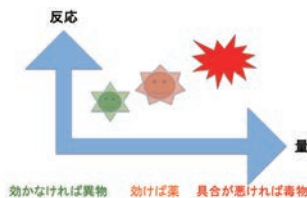
薬理学は臨床に最も近い基礎科目である

薬とリスク

薬には3つの顔がある



すべての医薬品は基本的に副作用のないものはない
リスクとベネフィットの微妙なバランスの上で使用されている
使い方の誤りは、副作用の被害が大きくなる可能性がある
トリアルエラー的なやり方は許されない一方で、リスクを恐れればベネフィットを犠牲にすることも許されることではない
→薬物の生体に対する作用を理解する



本講演の目的:
基礎と臨床をつなげた視点から、薬の作用機序に焦点を当て、その基礎知識を整理する

ベーシックハンズオンセミナー 東京歯科大学同窓会

「すぐに役立つ臨床のコツ」

～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科編～

臨床研修医や研修を終えて間もない先生は、得られた知識や技術を駆使して日々診療に取り組んでいらっしゃるかと思います。その一方で臨床経験が短いゆえに手技に対する不安もあるのではないのでしょうか。

本セミナーは実践スキルの向上を目指し、支台歯形成、テンポラリークラウンの作製、歯肉縁下になった歯根の挺出法(MTM)さらに豚顎を用いた歯肉剥離(フラップ手術)と縫合、抜歯を分野ごとにブースに分け少人数のテーブルクリニック形式の実習を通して学びます。本セミナーを受講して、不安を自信に変えていただきたいと思います。

毎年大好評のセミナーです。今年は1.5日と実習時間を拡大し、内容をバージョンアップしたセミナーになりました。明日からの臨床にすぐに役立つセミナーです。

講師：学術委員(東京歯科大学同窓会)

日時：9月7日(土) 13:00～18:00

9月8日(日) 10:00～16:00

場所：東京歯科大学水道橋校舎 新館11階

定員：60名

受講料：東京歯科大学同窓生(卒後5年目以下) 1万5千円(器材費1万円込み)

東京歯科大学大学院生(卒後5年目以下の他大学出身者)

2万5千円(器材費1万円込み)

東京歯科大学同窓生(前年度同窓会費納入者) 3万円(器材費1万円込み)

その他 6万円(器材費1万円込み)

実習内容：補綴1	支台歯形成
補綴2	テンポラリークラウンの作製
ペリオ	フラップ手術(切開、剥離、縫合)豚顎使用
口腔外科	抜歯・縫合 豚顎使用
矯正(MTM)	エクストルージョン

*本セミナーではテキストをWeb上からダウンロードしていただきます。

個人のE-mailアドレスの登録が必須となりますので必ずご記入ください。

当日はダウンロード済みのPC、タブレット等をお持ちください。

*実習に際し、ご準備いただく器材がございます。

(同窓会からの器材の貸し出しはございません。)

※同窓会HP(<http://www.tdc-alumni.jp>)からWeb申し込みもできます。



お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

ベーシックハンズオンセミナー	
ふりがな	出身校 () () () 大学(年卒)
ご氏名	東京歯科大学大学院生 所属講座名 ()
ご連絡先住所	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください) 〒
TEL	FAX
必須 E-mail	
ご勤務先名	

状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに記載いたしますので、そちらでご確認ください。

実際の歯科臨床においては、実践的な技術が伴っていないことを感じてないでしょうか？

一口腔単位での臨床診断や、治療計画の立案説明、実際の治療などを時間的制約がある中で的確に行うことは難しいものです。そんなプレッシャーを感じる前に、口腔外での擬似的体験を通して、日常臨床の一助にさせていただきたいと思います。



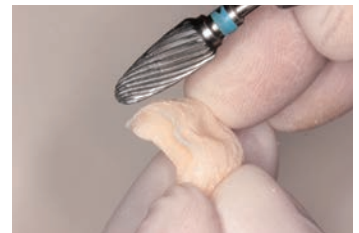
支台歯形成

効率よく
支台歯形成できますか？



テンポラリークラウンの作製

短時間で作製するコツ



フラップ手術

切開、歯肉弁の剥離ってどうやるの？
切開線の設定とデブライドメントのコツ
豚顎骨実習



抜歯・縫合

抜歯・縫合の基本を取り入れる
豚顎骨実習



MTM

エクストルージョン
装置の実際、何に気を付ければいいのか？
石膏模型実習



是非、この機会に少しでも臨床の現場で悩まない「臨床のコツ」を身に付けてください。

顎関節症セミナー

東京歯科大学同窓会

臨床セミナー
聴講型

● 顎関節症セミナー

「顎関節症の治療法をアップデート」

～顎関節症の診断から基本治療・難症例について～

顎関節は腰・肩・膝などと同じ運動器であり、顎関節症の発症、持続、悪化には心理・社会的要因も大きく関係しているといわれています。

本セミナーでは治すための顎関節症の考え方、診察・検査、そして最近明らかになってきた顎関節症における身体症状の評価、口唇閉鎖力、舌圧などの機能評価をおこない、病態診断から治療戦略の立案について臨床例をまじえて解説します。さらには治らない場合への対処法についても学んでいただきます。セルフケア指導や徒手顎関節受動術のデモもおこないます。ぜひご参加ください。

講師：島田 淳（東京都開業）

日時：10月27日（日）10：00～17：00

場所：ハイブリッド開催

対面参加 東京歯科大学水道橋校舎 新館11階

Web参加 zoom ウェビナー



定員：60名

受講料：東京歯科大学同窓生（前年度同窓会費納入者）：2万5千円

その他：3万円

- 講演内容：1) 口腔機能障害として考える顎関節症
2) 診察、検査、病態診断の実際
3) 疾患教育、病態説明、セルフケア、プロフェッショナルケア
4) 咬合治療について
5) 難症例の考え方とその対応



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

顎関節症セミナー 参加方法 <input type="checkbox"/> 対面参加・ <input type="checkbox"/> Web参加 チェックをお入れください	
ふりがな	出身校（大学）
ご氏名	（年卒）
ご連絡先 住所 〒	（どちらかに○をしてください）
TEL 必須 E-mail	FAX
ご勤務先名	

状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに記載いたしますので、そちらでご確認ください。



島田 淳
(しまだ あつし)

1987年 日本大学歯学部卒業
 1991年 日本大学大学院歯学研究科(補綴学専攻)修了
 1995年 日本大学助手(補綴学教室局部床義歯学講座)
 1999年 東京歯科大学講師(スポーツ歯科研究室)
 東京歯科大学水道橋病院 顎関節・咬み合わせ・歯ぎしり外来
 医療法人社団グリーンデンタルクリニック 理事長
 東京歯科大学非常勤講師(スポーツ歯科研究室)
 2005年～
 2008年 神奈川歯科大学非常勤講師(かみあわせリエゾン診療科)
 2017年～ 神奈川歯科大学臨床教授・特任教授(包括的咬合機能回復外来)
 2022年～ 日本顎関節学会常任理事

所属団体・認定資格・役職

日本顎関節学会常任理事、歯科顎関節症専門医・指導医
 日本補綴歯科学会 専門医・指導医
 日本口腔顔面痛学会評議員、口腔顔面痛専門医・指導医
 日本歯科心身医学会代議員

主な著書(分担執筆)

「歯科衛生士のための顎関節症ガイドブック」	医歯薬出版	2021年
「ある日突然やってくる困った患者さん あなたなら、どう診る？」	デンタルダイヤモンド社	2019年
「顎関節症 セルフケア指導ハンドブック」	医歯薬出版	2018年
「顎関節症 スプリント療法ハンドブック」	医歯薬出版	2016年
「歯医者に聞きたい 顎関節症がわかる本」	口腔保健協会	2016年
「顎関節症 運動療法ハンドブック」	医歯薬出版	2014年

顎関節症治療の基本は、症状の原因となっている生活習慣、悪習癖やストレスなどのリスク因子を把握し、患者さんが自らのリスク因子と病態を知り、症状をコントロール出来るよう指導すること(セルフケア指導)です。そして顎関節症は咀嚼筋、顎関節など運動器の機能障害ですので、機能改善のための運動療法が重要であり、睡眠時における顎関節への負荷軽減、運動療法により改善した状態を保持するためのスプリント療法も必要となってきます。また、近年では顎関節症を口腔機能障害として捉えた対処も求められています。

今回の講演では、治すための顎関節症の考え方と病態診断を踏まえた治療の実際について難症例への対処法を交え解説するとともに、歯科衛生士ができるセルフケア指導と、歯科医師が行う徒手の顎関節授動術の実際についてのデモも行います。

顎関節症は、早期に適切な対応ができればほとんどが改善します。この機会に顎関節症を是非マスターしてください。
(Atsushi Shimada)



「歯科から取り組む! 孤立という病を地域で治す方法」 ～人のつながりが薬になる～

社会的に孤立していることは、時に健康を脅かします。人との交流が乏しいと抗うつ病のリスクや、認知症の発症リスク、死亡のリスクまで高くなるのが、世界的に課題となっています。

この解決策として、いま、世界では医療者や医療施設が地域のつながりの中心となって、人々の健康を地域社会で支える「社会的処方」という新しい取り組みが広がりつつあります。

歯科疾患の多くは生活習慣病であり、病気の視点だけではなく、生活の視点での支援の重要性が明らかになってきています。

日本でも大きな課題となっている〈社会的孤立〉に対して歯科医師、歯科医院は、なにができるのか。

書籍「社会的処方」の著者である西 智弘先生と地域コミュニケーションに取り組んでいる高柳篤史先生を交え生涯における健康づくりにおいて歯科医療の遠心的発展の方向性を模索する目的で、多職種と連携して、個人と社会を繋げるための社会的処方についてみなさんと議論を深めていきたいと思っております。

講師：西 智弘
(一般社団法人プラスケア代表理事)
高柳 篤史
(埼玉県開業)



日時：11月17日(日) 10:00～13:30

場所：ハイブリッド開催
対面参加 東京歯科大学水道橋校舎 新館11階
Web参加 zoomウェビナー

定員：60名

受講料：無料

講演内容：1) 日本において本当に社会的孤立は存在するのか
2) 社会的処方のカナメ
3) オーラルヘルスからヘルスエコロジーへの展開
4) 歯科医療と地域づくり

※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。



お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

医療教養フォーラム 参加方法 <input type="checkbox"/> 対面参加・ <input type="checkbox"/> Web参加		チェックをお入れください
ふりがな	出身校 (大学)	
ご氏名	(年卒)	
ご連絡先住所	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
TEL	FAX	
必須 E-mail		
ご勤務先名		

状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに記載いたしますので、そちらでご確認ください。



西 智弘
(にし ともひろ)

川崎市立井田病院 腫瘍内科 部長
一般社団法人プラスケア代表理事

所属団体・認定資格・役職
一般社団法人プラスケア代表理事
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法 専門医

経歴

2005年北海道大学卒。室蘭日鋼記念病院で家庭医療を中心に初期研修後、2007年から川崎市立井田病院で総合内科/緩和ケアを研修。その後2009年から栃木県立がんセンターにて腫瘍内科を研修。2012年から現職。現在は抗がん剤治療を中心に、緩和ケアチームや在宅診療にも関わる。また一方で、一般社団法人プラスケアを2017年に立ち上げ代表理事に就任。「暮らしの保健室」「社会的処方研究所」の運営を中心に、地域での活動に取り組む。

「薬で人を健康にするのではなく、地域とのつながりを利用して人を元気にする」社会的処方は、1980年ころイギリスにてその取り組みが始まり、2000年代には孤独・孤立の問題を解決する方法のひとつとして期待され、かの国の政策にも取り上げられた。本邦においては、2021～2023年の「骨太の方針」にその文言が取り上げられ、国が主導してのモデル事業も進んでいる。

一方で、本邦においても社会的処方という概念が輸入される以前から、既に各地域で「つながりが人を元気にする」ことに気づき、実践を続けてきた方々が大勢いる。2018年に設立された社会的処方研究所では、そのような民間セクターの方々、医療者など専門セクターの橋渡しをし、さらには世界における実践者カンファレンスまでつながっていくことを模索している。その大本では、国が推し進めるであろう社会的処方の制度化に先んじて、「社会的処方を文化にする」ことを目指したいと考えている。今回の講義では、社会的処方研究所がこれまでどのような実践を行ってきたかを共有し、その活動にどのような目的がこめられているかを披歴し、今後の課題について皆さんとディスカッションする機会としたい。

(Tomohiro Nishi)



高柳 篤史
(たかやなぎ あつし)

1989年 東京歯科大学卒業
1989年 作間歯科医院(川崎市)勤務
1992年 東京歯科大学大学院入学(衛生学)
1996年 東京歯科大学大学院修了
東京歯科大学衛生学講座研究助手
1998年 高柳歯科医院(埼玉県・幸手市)勤務
2013年～ 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座 兼任講師
2023年～ 東京歯科大学衛生学講座 客員教授

所属団体・認定資格・役職
スタディーグループ「はみがき学の会」代表
東京歯科大学学会 理事
日本口腔衛生学会 代議員
8020推進財団 広報委員

主な著書(分担執筆)

歯磨きのソムリエになる デンタルハイジーンVol.28 (No.1～6)	医歯薬出版	2008年
セルフケアの処方箋(共編著)	医歯薬出版	2009年
セルフケア指導 脱誤解と思い込み	クインテッセンス出版	2021年

口腔疾患を起因する多くの要因は生活環境にあると言っても過言ではない。そのため、歯科医療においても、口腔内に生じた疾患を治療しただけでは、再発を繰り返し、治療の効果が得にくいことも多いことを日常臨床で多く経験する。さらには、口腔に多くの問題を抱えているにも関わらず、個人が置かれている社会環境が起因して、歯科受診にすら繋がらないケースも多々存在している。

そのため、歯科医療においても、家庭環境や社会環境へのアプローチが不可欠である。とりわけ、社会的孤立は、健康に著しく問題となることが明らかになってきている。そこで、地域での口腔の健康づくりを推進して、個人と社会の繋がりに対するアプローチを積極的に展開していくことが求められる。現時点ではその具体的な方法については模索段階ではあるが、各地域で、様々は試みがなされてきている。そこで今回、個人が置かれている社会環境に対して歯科医療の立場からどのようなアプローチができるかを参加者の皆さんとともに考えてみたい。

(Atsushi Takayanagi)



卒後研修 ……………臨床研修医から若手歯科医師を対象に、診査診断、情報収集と記録、治療計画、予後予測、プレゼン方法を学び、生涯研修の基本を身につけることを目的としています。各研修会、症例検討会、ベーシックセミナーを通して、日常臨床の基本を学べます。

臨床セミナー ……………すべての臨床医へ、基本手技から専門的知識と技術、先進医療など、臨床レベルの向上につながるセミナーを提供することを目的としています。セミナーを通じ、日常臨床のスキルアップ、臨床対応の選択肢が広がるよう、各専門的立場の先生方からお伝えいたします。

医療教養 ……………若手歯科医師からベテラン歯科医師まで、教養学習を通して社会性や歯科医療倫理観を高めることを目的としています。講演会、研究発表、グループ活動報告などの情報発信を通して、歯科医療的課題について共に研鑽いたします。

卒後研修

TDC 卒後研修倶楽部	奇数月第4木曜日	20:00～
卒研症例検討会	偶数月第4木曜日	20:00～
デンタルスタッフミーティング	第3水曜日	20:00～

臨床セミナー

- 5月26日(日) **小児外傷セミナー**
「これで安心！症例から学ぶ小児外傷の対応」
～外傷歯の保存・抜髄・抜歯 幼若永久歯・後続永久歯などへの対応～
講 師：辻野 啓一郎（東京歯科大学小児歯科学講座）
荒井 亮（東京歯科大学千葉歯科医療センター小児歯科）
- 7月 7日(日) **薬セミナー**
「知れば広がる処方仕方」
～有病者・高齢者・妊婦・小児患者への実践的な処方～
講 師：笠原 正貴（東京歯科大学薬理学講座）
野村 武史（東京歯科大学口腔腫瘍外科学講座）
- 9月 7日(土) **ベーシックハンズオンセミナー**
9月 8日(日) 「すぐに役立つ臨床のコツ」
～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科編～
講 師：学 術 委 員（東京歯科大学同窓会）
- 10月27日(日) **顎関節症セミナー**
「顎関節症の治療法をアップデート」
～顎関節症の診断から基本的治療・難症例について～
講 師：島田 淳（東京都開業）

医療教養

- 11月17日(日) **医療教養フォーラム**
「歯科から取り込む！孤独という病を地域で治す方法」
～人のつながりが薬になる～
講 師：西 智弘（一般社団法人プラスケア代表理事）
高柳 篤史（埼玉県開業）



新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じてセミナーを開催する予定ですが状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。

会場について

- 東京歯科大学水道橋校舎新館
- 東京歯科大学水道橋校舎別棟7階
JR『水道橋駅』東口下車(御茶ノ水寄り出口)



受講申し込みについて

セミナーごとに申し込み用紙があります。

所定の申し込み用紙に必要事項を記載の上、FAXにて送信いただくか、同窓会HPよりWebにてお申し込みください。

FAX 03-3264-4859 (東京歯科大学同窓会事務局)

<https://www.tdc-alumni.jp>

必要記載事項

- ①氏名・ふりがな
 - ②ご連絡先となる 郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、勤務先名
 - ③Eメールアドレス
 - ④職種 歯科医師(出身大学・卒業年度)、臨床研修医(出身大学)
歯科衛生士、コ・デンタルスタッフ、その他
- *もれなくご記載ください。記載不備の場合、正式申し込みにならない場合があります。

申し込み時の注意事項について

- ・受付は先着順とし、お申し込み受付後、振込用紙(郵便局用)をお送りいたします。
- ・振込用紙送付時に指定した期日までに受講料をご入金ください。
- ・受講料は消費税込みとなっております。
- ・入金の確認をもって受講受付完了とし、後日受講票および受講案内をお送りいたします。
なお領収書は振込金受領証をもってかえさせていただきます。
- ・入金前にキャンセルをご希望の方は必ずご連絡ください。
- ・入金後の受講料のご返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
(ご欠席なされる場合は、代理の出席が可能です。)
- 但し、主催側の事情により中止した場合は受講料の返金をいたします。
- ・プログラムの内容は、やむを得ず変更となる場合がありますので、ご了承ください。
- ・本セミナーは、日本歯科医師会の生涯研修事業に認定されております。研修登録用ICカードをお持ちください。

*東京歯科大学同窓会は、本セミナーの参加申し込みにより取得した個人情報を厳重に管理し、予めご本人の同意を得ることなく、第三者に提供することはいたしません。

東京歯科大学同窓会での個人情報の利用目的は下記の通りです。

1. 本セミナーの運営および、それにとまなうご連絡。
2. 東京歯科大学同窓会からの各種情報のご案内。

セミナーお申し込みはこちらから



東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18
東京歯科大学同窓会事務局

TEL 03-6261-6631 FAX 03-3264-4859
URL <https://www.tdc-alumni.jp>

メモ

A series of horizontal dotted lines for writing notes.

